

1. 操業状況

(1) 搬入実績(平成 18 年 10 月 3 日～平成 27 年 7 月末)

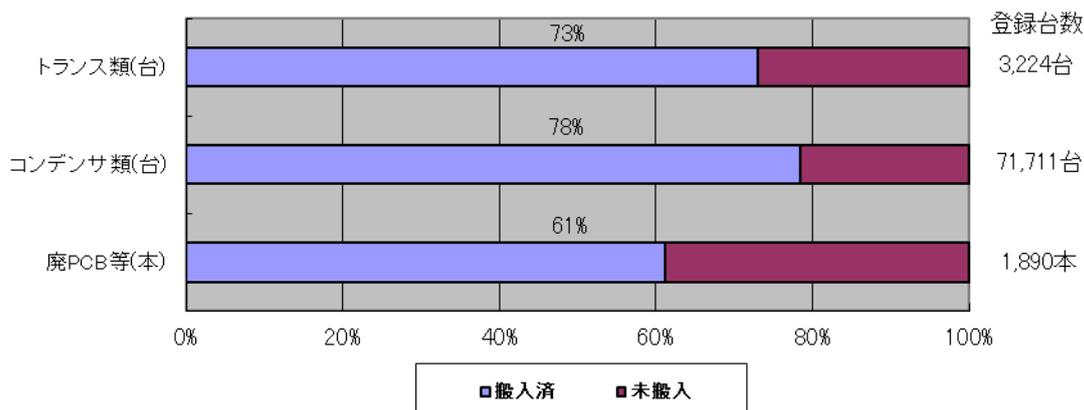
平成 18 年 10 月から平成 27 年 7 月までの PCB 廃棄物搬入実績は、トランス類が 2,356 台、コンデンサ類が 56,248 台、廃 PCB 等が 1,156 本となっています。
 近畿 2 府 4 県で登録されている PCB 廃棄物のうち、トランス類では約 73%、コンデンサ類では約 78%、廃 PCB 等では約 61%が搬入されました。

表 1 年度別の搬入実績

種類	年度	滋賀県	京都府	兵庫県	奈良県	和歌山県	大阪府	大阪市*4	合計
トランス類 (台)	18	-	-	-	-	-	68	68	68
	19	-	-	-	-	-	332	332	332
	20	-	6	-	-	-	306	257	312
	21	2	8	74	-	6	290	116	380
	22	3	28	99	6	14	252	92	402
	23	1	22	79	48	8	101	77	259
	24	3	19	18	4	25	118	52	187
	25	3	20	28	31	1	186	81	269
	26	4	11	21	13	-	76	43	125
	27*2	-	1	7	4	-	10	4	22
	合計	16	115	326	106	54	1,739	1,122	2,356
登録数*3	17	316	688	109	93	2,001	1,297	3,224	
コンデンサ類 (台)	18	-	-	-	-	-	2,096	2,096	2,096
	19	-	-	-	-	-	4,575	4,575	4,575
	20	52	87	245	9	-	5,015	2,649	5,408
	21	493	1,014	2,270	254	546	1,831	458	6,408
	22	598	525	2,462	156	563	2,228	566	6,532
	23	655	770	2,377	179	428	1,784	183	6,193
	24	588	1,271	2,546	269	513	2,527	293	7,714
	25	1,257	845	3,800	338	306	2,373	506	8,919
	26	457	736	2,834	355	145	1,709	322	6,236
	27*2	109	198	1,196	213	18	433	122	2,167
	合計	4,209	5,446	17,730	1,773	2,519	24,571	11,770	56,248
登録数*3	4,798	9,393	23,607	2,063	2,996	28,854	13,215	71,711	
廃 PCB 等 (本)	18	-	-	-	-	-	20	20	20
	19	-	-	-	-	-	69	69	69
	20	-	5	-	-	-	88	82	93
	21	1	5	44	1	-	30	28	81
	22	5	-	21	-	-	57	3	83
	23	2	10	51	-	6	111	46	180
	24	62	10	30	-	3	193	144	298
	25	41	10	11	2	4	161	81	229
	26	4	13	56	-	-	13	4	86
	27*2	2	-	2	-	-	13	6	17
*1 合計	117	53	215	3	13	755	483	1,156	
登録数*3	140	126	485	5	26	1,108	558	1,890	

*1 ドラム缶数 *2 平成 27 年 7 月末まで *3 平成 27 年 7 月末現在 *4 大阪府に含まれる内数

図 1 搬入実績



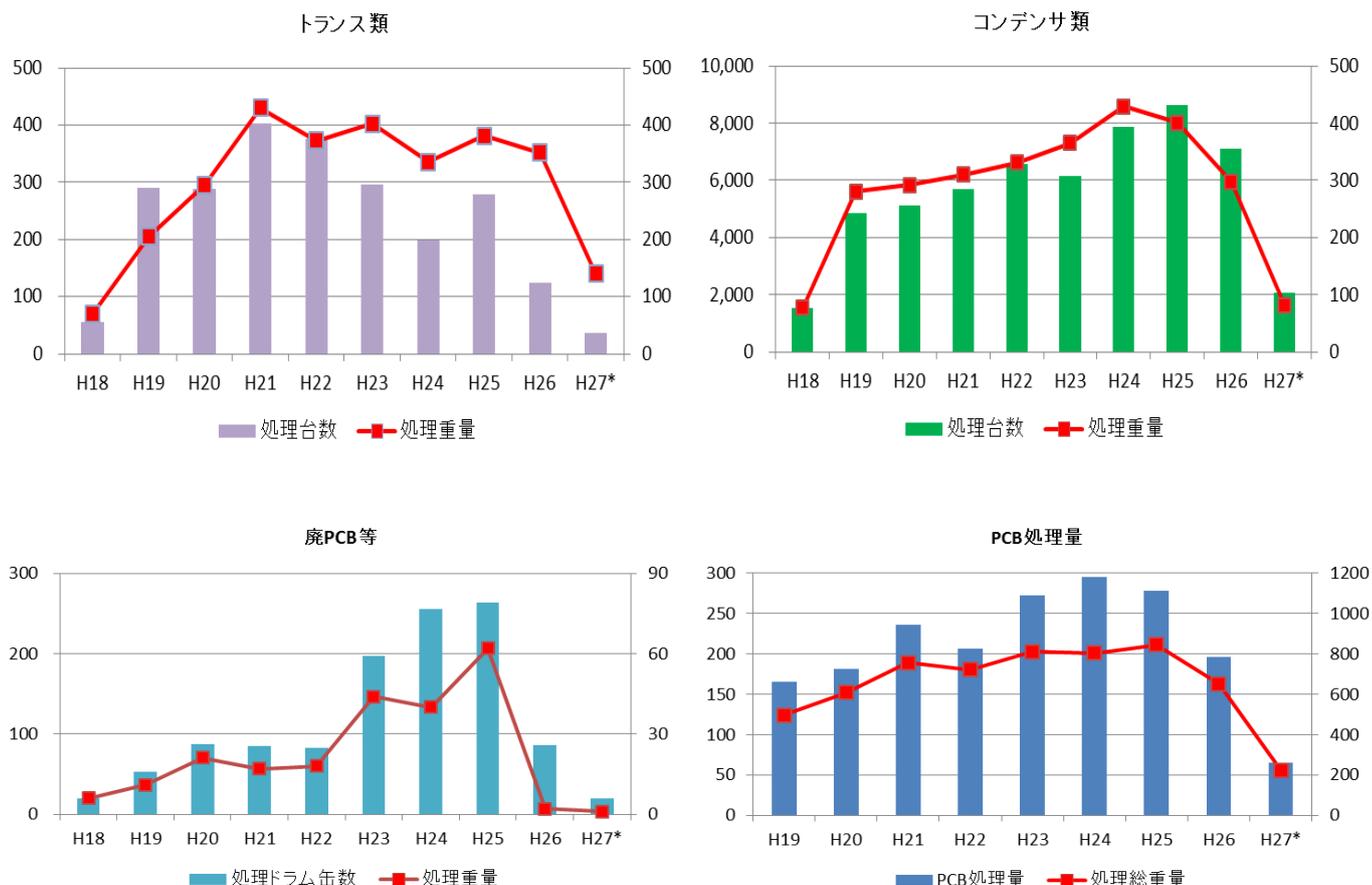
(2) 中間処理完了実績 (D票ベース) (平成18年10月3日～平成27年7月末)

表-2 年度別の中間処理完了実績

種類等		年度											計
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27*		
トランス類	処理数(台)	56	290	289	404	376	297	199	279	125	36	2,351	
	処理重量(t)	70	205	296	430	373	403	336	382	352	140	2,987	
コンデンサ類	処理数(台)	1,513	4,862	5,136	5,692	6,557	6,152	7,873	8,636	7,091	2,081	55,593	
	処理重量(t)	77	280	292	310	331	365	429	401	298	81	2,864	
廃PCB	処理ドラム缶等(本)	20	53	87	85	83	197	256	264	86	20	1,151	
	処理重量(t)	6	11	21	17	18	44	40	62	2	1	222	
処理重量計(t)		153	496	609	757	722	812	805	845	652	222	6,073	
PCB処理量(t)		19.7	165.7	181.9	236.5	206.0	272.8	295.8	278.0	195.9	64.8	1,917.1	

*平成27年度は平成27年7月末までのデータ

図-2 中間処理完了実績



*各グラフの平成27年度は7月末までのデータ

(3) 払出実績(平成 18 年 10 月 3 日～平成 27 年7月末)

1) 有価物・廃棄物

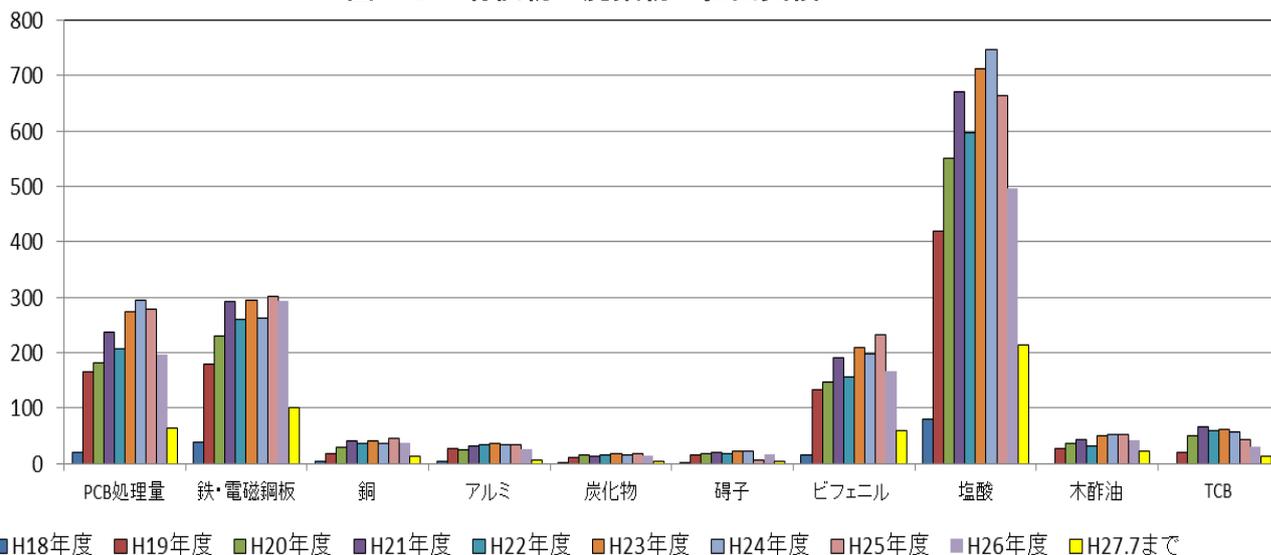
表－3 年度別の払出実績

品目		年度									
		H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27 7月まで
有 価 物	鉄・電磁鋼板(t)	38.7	179.2	230.0	293.0	261.0	293.6	262.2	302.1	293.1	99.9
	銅(t)	3.8	16.6	29.9	40.3	36.9	41.6	36.2	44.5	38.2	13.2
	アルミ(t)	4.8	25.8	24.0	32.3	33.2	36.0	33.5	34.8	25.9	7.0
廃 棄 物	炭化物(t)	1.3	10.7	14.6	13.7	15.3	17.8	15.2	18.1	13.6	3.0
	碓子(t)	2.5	15.6	17.7	20.0	17.3	21.4	21.8	5.1	15.5	4.7
	ビフェニル(m ³)	15.0	132.5	146.6	190.4	156.8	208.4	197.2	233.2	165.5	59.7
	塩酸(m ³)	79.1	419	549.9	671.3	596.7	712.6	747.5	664.5	497.1	213.1
	木酢油(m ³)	0	27.6	36.2	42.6	30.4	50.4	52.7	51.9	42.3	21.2
	TCB(m ³)	0	20.4	49.9	66.3	59.7	60.5	55.8	42.4	30.2	11.9

*平成 27 年度は平成 27 年 7 月末までのデータ

(t)(m³)

図－3 有価物・廃棄物の払出実績



2) 廃棄物の再資源化方法

表－4 払出している廃棄物の再資源化方法

廃棄物	再資源化方法
炭化物	銅精錬原料等として利用
碓子	再生砕石等として利用
ビフェニル	他の廃油等と混合の後セメントメーカーで燃料として利用
	他の廃油等と混合の後助燃油として利用
塩酸	飛灰、スラッジ、汚染土壌の金属抽出剤として利用
	汚泥処理(中和)剤として利用
木酢油	高炉用ペレット製造又はセメント原料製造工程の原燃料
T C B	高炉用ペレット製造又はセメント原料製造工程の原燃料

(4)VTR 運転状況(PCB廃棄物と運転廃棄物)

大阪PCB処理事業所の設備能力はVTRの年間運転バッチ数で決まりますので、そのPCB廃棄物と運転廃棄物との処理内訳を表-5及び図-4、5に示します。

表-5 VTR 年間処理バッチ数実績及び計画

区別	平成25年度 実績	平成26年度 実績	平成27年度 計画	平成28年度 計画	平成29年度 計画	平成30年度 計画	合計
PCB廃棄物	507	404	374	366	366	341	2,358
運転廃棄物	49	56	175	177	184	188	829
計	556	460	549	543	550	529	3187

図-4 VTR 年間処理バッチ数実績及び計画

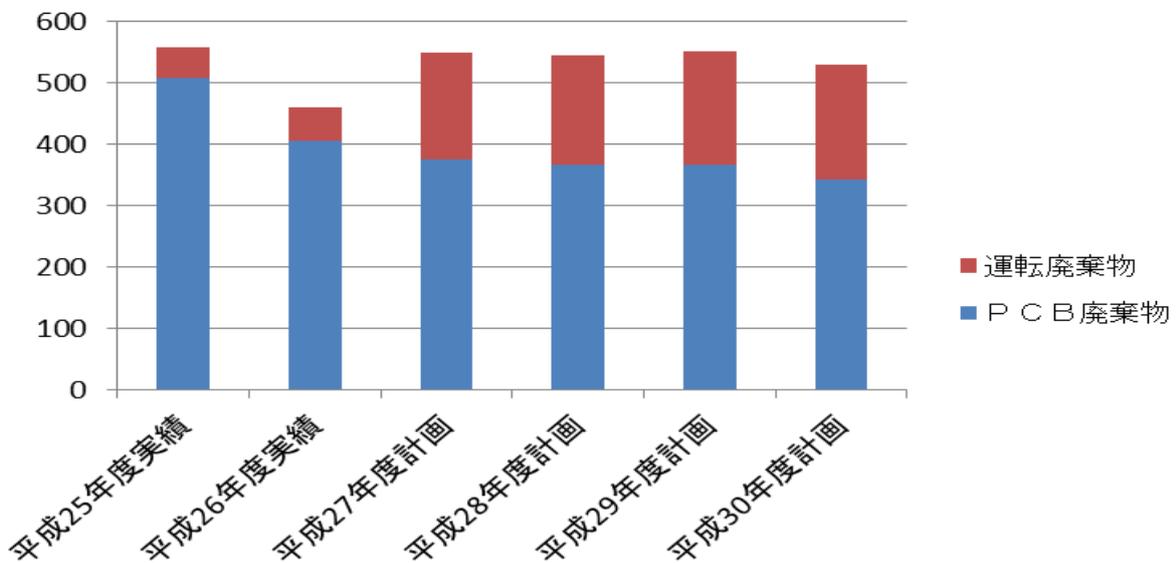
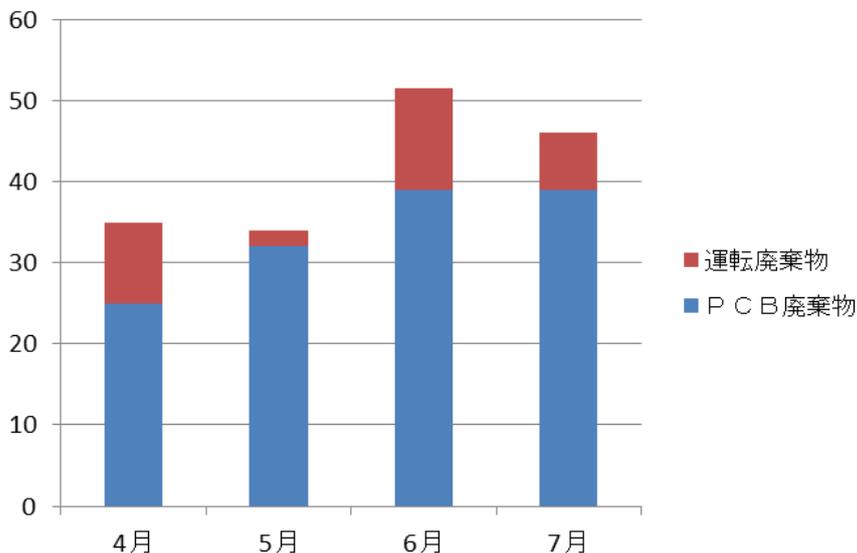


図-5 平成27年度月別VTR処理バッチ数実績



(5) 視察・見学状況

平成 18 年 10 月に見学受入を開始して以来、平成 27 年 7 月末現在で延べ 1,294 団体、9,909 人の方が情報公開設備を視察・見学されました。視察・見学者の内訳は、地元市民をはじめ企業関係（PCB 廃棄物保管事業者を含む）、環境団体・協会の方々です。

表-6 視察・見学者数

年月	総数	企業関係	環境・協会	一般関係	行政関係	学校・研修	自由見学	海外	委員会等*1
平成 18 年度	2,129	793	767	113	282	62	55	34	23
平成 19 年度	3,333	1,511	996	527	148	44	40	45	22
平成 20 年度	1,100	316	430	13	168	52	91	30	0
平成 21 年度	650	237	170	19	79	64	51	17	13
平成 22 年度	624	152	202	34	87	101	26	12	10
平成 23 年度	482	231	34	2	128	23	36	11	17
平成 24 年度	501	176	104	1	75	60	31	9	45
平成 25 年度	465	189	80	1	175	6	14	0	0
平成 26 年度	518	158	24	21	111	81	0	6	117
平成 27 年 4 月～ 平成 27 年 7 月	108	63	0	1	3	34	1	6	0
合計	9,910	3,826	2,807	732	1,256	527	345	170	247

*1 民間・議会等の各種団体（委員会、協議会）

(6) 保管事業者説明会の開催

PCB 廃棄物の円滑な処理を進めるため、平成 27 年 5 月からは 7 巡目の説明会に入っています。

今後も受入にあたり保管事業者の方への説明会を開催するなど、PCB 廃棄物の早期処理完了に向けて取り組みます。

表-7 近畿 2 府 4 県（大阪市を除く）保管事業者説明会の実施状況

開催時期	対象地域	回数	出席事業者数	
1 巡目	平成 20 年 7 月～平成 21 年 11 月	2 府 4 県	33	915
2 巡目	平成 21 年 11 月～平成 22 年 11 月	2 府 4 県	30	1,192
3 巡目	平成 23 年 1 月～平成 23 年 11 月	2 府 4 県	27	605
4 巡目	平成 24 年 1 月～平成 25 年 1 月	2 府 4 県	22	542
5 巡目	平成 25 年 1 月～平成 25 年 10 月	2 府 4 県	17	646
6 巡目	平成 26 年 2 月～平成 27 年 4 月	2 府 4 県	25	909
7 巡目	平成 27 年 5 月～平成 27 年 6 月	大阪府	3	123
	平成 27 年 7 月	和歌山県	1	21

(8)緊急時対応訓練実施状況

平成 27 年度は、「平日昼間の小火災」をテーマとして各班、グループ毎に個別事象を設定して取り組んでいます。今後も毎月 1 回の実施を予定しています。

なお、昨年 11 月は担架組立搬送・放水・テント組立・消火の訓練、12 月は地震避難訓練、また今年 5 月には此花消防署の立会いのもと、自衛消火隊による消火・負傷者の救助・避難・固定消火設備起動などの訓練を行いました。

表－9 緊急時対応訓練実績

月 日	訓練項目
平成 26 年 8 月 28 日	緊急時対応訓練 (漏洩/解体-2 グループ)
9 月 22 日	同 上 (漏洩/液処理-1 グループ)
10 月 30 日	同 上 (漏洩/液処理-2 グループ)
11 月 13 日	消防訓練 (担架組立搬送・放水・テント組立・消火訓練)
12 月 4 日	地震避難訓練 (通報・避難訓練)
平成 27 年 1 月 29 日	緊急時対応訓練 (漏洩/分析グループ)
2 月 26 日	同 上 (漏洩/ 中央運転制御グループ)
3 月 24 日	同 上 (漏洩/ 中央運転制御 グループ)
4 月 16 日	緊急時対応訓練 (小規模火災/ VTR-1 グループ)
5 月 21 日	消防訓練 (消火・通報・避難・救助訓練) [此花消防署立会、指導]
6 月 25 日	緊急時対応訓練 (小規模火災/ VTR-2 グループ)
7 月 28 日	同 上 (小規模火災/解体-1 グループ)

消防訓練 (平成 27 年 5 月 21 日)

初期消火訓練



指揮本部



(9) 安全教育実施状況

安全教育は継続して毎月行っています。大阪PCB処理事業所では安全を最優先にして作業に取り組んでおり、労働災害ゼロを達成しています。所員の安全知識レベルを向上させたいという考えでルールを順守できるように安全教育を行っております。熱中症防止教育はJESCO、運転会社の従業員にとどまらず、定期検査作業で入構されるJVの責任者、安全担当者まで拡大して行っています。

表-10 安全教育実績

月 日	教 育 内 容
平成 26 年 8 月 21 日	日々の安全／空気呼吸器の説明と装着
9 月 19 日	心肺蘇生／AED操作
10 月 23 日	事故防止のチェックリスト
11 月 20 日	停電時の設備起動
12 月 18 日	火災・地震対応教育
平成 27 年 1 月 21 日	化学物質のリスクアセスメント
2 月 19 日	パワーハラスメント
3 月 19 日	ヒューマンエラー
4 月 23 日	安全のポイントⅡ
5 月 28 日	ISO14001 再教育
6 月 18 日	救急救命講習（心肺蘇生/AED操作）
7 月 16 日	熱中症／定期検査工程の内容説明

教育（平成 27 年 6 月 18 日）救急救命講習（心肺蘇生/AED操作）



(10)ヒヤリハット・キガカリの取り組み状況

ヒヤリハット・キガカリ活動は、偶数月を強化月間として取り組んでいます。従業員から提出された案件は、タスクチームで1件毎に内容を確認し、改善が望ましいと判断した案件については確実に改善を進めています。

ヒヤリハット・キガカリの提出状況については、毎月開催されるJESCO／運転会社の安全衛生協議会で報告されています。

表-11 ヒヤリハット・キガカリの提出件数

	年度別件数									
	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27*
ヒヤリハット	78	162	21	66	99	75	78	40	98	33
キガカリ	41	357	168	293	247	205	306	171	236	86

*7月末まで

図-6 ヒヤリハット・キガカリ件数(平成26年4月～平成27年7月)

